

平成24年度二級建築士設計製図試験対策講習会

1. 講習会のご報告

去る8/25(土)、8/26(日)の二日間に渡り、毎年恒例の二級建築士設計製図試験対策講習会を建築士会館にて行いました。



今年度の受講生数は4名と少人数を対象とした指導となりましたが、教えることと青年委員の資質向上に意義がありますので、いつも以上の意気込みでスタッフ一同張り切って行いました。

事務局の方々の設営・協力のおかげもあり、両日ともトラブルもなくスムーズに進行することができました。

受講生の方々の作図ペースや状況を見せてもらいましたが、全員完成度は高く、合格が期待される方ばかりでした。



図面の完成度が高かったため、添削にあたってはかなりの細かな所まで指摘するよう、心がけました。合格して頂くためには小さいことも重要になってきますので、結果として良かったのではないかと考えております。

2. 設計製図試験の変更点について

今年度より試験内容が変更となり、「計画の要点等」という内容が追加されるとともに、試験時間が従来の4時間30分から30分延長し、5時間となりました。

この「計画の要点等」とは、要求された設計条件について、どのように応えたかを200文字程度で回答する内容となっています。

一級建築士設計製図試験では既に採用されており、そのボリュームに違いはありますが、今回より、二級建築士試験においても求められるようになりました。

そのため、今年度の講習会では「計画の要点等」の説明に重点を置き、我々スタッフの理解が必要でしたので、事前調査や勉強を行い、受講生の皆様にスムーズに理解して頂くよう説明しました。

また、申込から講習会当日までの過ごし方についてのアドバイスや受講後も質問に答えるためのフォローアップシートの配布など、サポート強化を図りました。



3. 今後の課題について

今年度は、受講生を増やすために種々の募集案内を試みました。学科試験当日における試験会場でのチラシ配り、士会HPへの掲載、既建築士会会員への受講生紹介依頼、受験生への案内書送付などを行いました。

ただ、結果的に4名という少数の申込となりました。

今後、いかにして多くの方々に受講いただくかが大きな課題です。この記事をご覧の皆様方にお知恵がございましたら、アドバイス頂けると幸いです。

しかしながら、受講生の皆様の合格が最重要事項ですので、青年委員会スタッフ一同、合格を祈願しながら、本報告を締めさせていただきます。

(記・奈良支部 坂本慎二)